



発行所 青森県立木造高等学校 印刷所 青森県立木造高等学校 有限会社 光陽印刷



校長 大瀬 雅生

「ファーストペンギン」とは、「失敗を恐れず未知の領域へ勇気を持って挑戦する人」を表す言葉として使われています。

元来、ペンギンは臆病な生き物です。ペンギンは集団で暮らしていますが、特定のリーダーがいまません。彼らは危険を感じたとき、最初に察知し、行動した1羽に続くという習慣があります。餌を取るときも同様です。主に氷上で生活している彼らは、海の中に餌の魚を取りに行かなければいけません。そこには、シャチやトド、オットセイなど、ペンギンを捕食しようとす



生徒会長 22HR 太田 健心

生徒会は、学校行事の運営や規則の見直しなど学校生活をより良くするためにいろいろな案を出し合っています。今年の総合競技大会は従来のやり方で開催しましたが、楽しんでいただけようか。私はまだまだ改善点があると思います。来年

来年度に向けて

度には生徒会で改善案を出し合い、もっと楽しめるような総合競技大会に仕上げたいです。また皆さんからの意見を取り入れていきたいと思っています。行事の中でも、文化祭といったら学校生活の中で強い思い出に残るものですが、来年度

の文化祭こそは、今まで生徒会が目指してきた校内での開催を目指して、進んでいきたいと思っています。現在校内での文化祭を知っている人がいないので、資料から自分達の手で作りに上げていく形になります。ぜひ応援をお願いします。これからもコロナウイルスは猛威を振るいますが、これ以上感染者が増えないことを祈り、従来

の文化祭こそは、今まで生徒会が目指してきた校内での開催を目指して、進んでいきたいと思っています。現在校内での文化祭を知っている人がいないので、資料から自分達の手で作りに上げていく形になります。ぜひ応援をお願いします。これからもコロナウイルスは猛威を振るいますが、これ以上感染者が増えないことを祈り、従来

の行事の開催を目標に精進していきます。今私がここにいるのは、仲間の支えがあったことだと思っています。仲間にはこれまでに幾度となく助けられてきました。私はこんな素晴らしい仲間を持てたことを誇りに思うと同時に、素晴らしい仲間と活動していくことを考えると、まだまだ未熟な私ですが、これからもよろしくお願ひします。

令和4年度 県新人戦優勝者 陸上競技大会

女子走幅跳 23HR 渋谷麻由

男子個人66kg級 23HR 笠井鳳聖

女子個人 21HR 増田結月



県高校新人 柔道大会

男子個人73kg級 22HR 佐藤信吾

一つでも多く勝てるように頑張ります。

令和4年度 総合文化祭 優勝者



24HR 江良美唯菜 (代表)

22HR 長内保乃楓

22HR 長内保乃楓

22HR 長内保乃楓

22HR 長内保乃楓

救急実技 コンクール

24HR 江良美唯菜 (代表)

救急実技 コンクール

24HR 江良美唯菜 (代表)

救急実技 コンクール

24HR 江良美唯菜 (代表)

救急実技 コンクール

24HR 江良美唯菜 (代表)

救急実技 コンクール

24HR 江良美唯菜 (代表)

# 修学旅行

今年度の修学旅行(2年次)は、12月4日(日)から12月8日(木)まで四泊五日で実施された。主な旅程は、4日青森→京都(清水寺)、5日立命館大学→京都自主研修、6日京都→広島平和記念公園)→大阪、7日ユニバーサル・スタジオ・ジャパン、8日大阪→青森。コロナ禍で中止や短縮を余儀なくされてきた修学旅行だったが、今年度は予定通りに行われ、生徒たちは心待ちにしていた旅を満喫した。



## 清水寺 阿部 慈晃

清水寺の舞台には、昔、自らが落ちることによって願いが叶うという話があったり、男三人がかりでも持てないような柱が立っていたりしたということである。



## 立命館大学 一戸 楓羽

立命館大学を見学して、自分もそろそろ志望大学を決めなければいけないことを実感しました。大学の館内はとて広く、設備が整っていて驚きました。特に図書館が印象深かったです。また、本郷真紹教授のお話を聞いて、自分のことをもう少し見直し生活していきたいと思えました。できない言い訳を探すのではなく、できる方法を自分で探し、考え挑戦することが大事だとわかりました。修学旅行で大学を見学して、大学の参考になりましたし、自分の視野が広がり、とても貴重な時間を過ごすことができました。



## 平和記念公園 坂本 夢真

私たちは修学旅行で、広島にある平和記念公園を訪れました。園内には原爆ドームや平和の鐘などがありますが、特に印象深かったのは平和記念資料館です。資料館の中には、被爆者の遺品や、被爆の惨状を示す写真・資料がありました。原爆の恐ろしさや悲しさを肌で感じ、戦争の悲惨さを改めて実感しました。この体験を通して今の平和に感謝し、過去の過ちを二度と繰り返さないために、私たち若い世代が語り継いでいくことが大切だと思いました。命の尊さを忘れないで、日本だけでなく世界中が平和で幸せになることを願います。



## ユニバーサルスタジオジャパン 石沢 悠乃

誰もが楽しみにしていたユニバーサル・スタジオ・ジャパン。初めて来たという人が多く、一日中楽しむことができました。たくさんアトラクションの中には、乗るのは苦手と思われながらも乗りました。乗ってみると十分楽しめました。ぜひ、また訪れたいです。人が多く、歩き続けたので疲れましたが、集合時間には誰も遅れることがなくホテルに着くことができました。とても充実した楽しい一日になりました。



# 総合競技大会

9月29日(木)〜30日(金)に総合競技大会が実施された。二日間にわたる競技大会(1日目は屋内競技、2日目は屋外競技)は久々で、生徒たちは競技や応援を思い切り楽しんだ。



## 1年次優勝HR

12 HR 加藤あさひ

総合競技大会は二期の一大イベントです。私は一日目にバスケットボール競技に出場しました。バスケットボールをしたのは中学の体育の授業以来だったけれども、ミドルシューを決めることができて嬉しかったです。二日目に出場した借物競争では、封筒の中が「英語の担当の先生」でした。古川先生と手を繋いで走りました。走るのは苦手だけれど、楽しく走れました。初めての競技大会は総合一位という最高の成績で終われて、とても充実した二日間でした。来年も一位を目指して頑張ります。

## 3年次優勝HR

32 HR 毛内友哉

三年生にとって最後の大きな行事、総合競技大会!屋内の競技大会も、屋外の運動会もとても盛り上がりっていました。競技の結果に一喜一憂、クラス全員が優勝に向かって頑張っていました。特にクラス全員リレーでは、一位になることができ、さらに総合競技大会で優勝することができて、良い思い出になりました。コロナ禍で開催もままならなかった学校行事、最後にクラスのみんなと参加し、楽しむことができ、本当に良かったです。

### 同点優勝2年次

## 2年次優勝HR

21 HR 吉田彩菜

今年の総合競技大会は、本来の形である二日間に渡っての開催となり、一日目、二日目ともにクラスのみんなとの団結、笑顔、声掛けを忘れず全力で競技に取り組みました。そして、21HRは総合一位を勝ち取ることができました。二日間は本当にあつという間でした。それはみんなが、勝つこと以上に一つのこと、一生懸命取り組み、濃い時間を過ごしていたからだと思えます。これからの、いざという時に団結でき、互いを思いやり、そして高めあえる21HRでありたいです。

## 2年次優勝HR

22 HR 成田祈里

今回の総合競技大会は、数年ぶりに球技も含め二日間で行うことができました。前回と違って屋内競技のオセロやUNOなどのゲームがあったので、運動が苦手な人も楽しめたと思います。屋外競技は一日開催で新しく競技も増え、満足感がありました。恒例の部活対抗リレーや借り物競争も、とても面白かったです。今回はクラスごとの練習がほとんどなかったけれど、優勝できてうれしく思いました。来年もこのメンバーで優勝めざして頑張ります。

# インターンシップ

11月16日(水)～17日(木)に1年次就職希望者のインターンシップが実施された。生徒たちはそれぞれの職場(19カ所)で、現場の方々のご協力をいただきながら、貴重な体験を得ることができた。



## 自衛隊

11 HR 三上 椿

今回のインターンシップで、陸・海・空の自衛隊の仕事を、もっと細かく分けるとおよそ49種類にもなることに驚きました。自衛隊の中には警察があるの、警察官になりたい人などは自衛隊のことを調べてみるのもいいと思います。駐屯地は学校のように、体育館や売店、食堂があり、長期休暇もとれることがわかりました。訓練は、射撃訓練など陸・海・空で違って、実際に紐の訓練を体験し、習得することができ、とても楽しかったです。また、隊員は寮生活になります。門限を守れば外出できることも知りました。将来につながる、いい経験になりました。

## つがる市 社会福祉協議会

12 HR 藤森 悠月

今回のインターンシップでは、デイサービスセンターかつこの館で仕事をさせていただきました。午前はお茶を出したり、布団を敷いたり、髪を乾かしたりして、利用者さんとふれ合う機会がたくさんありました。午後は一緒に体操をし、ミニゲームやおしゃべりを見送り、利用者さんを送り、最後に掃除をして一日が終わりました。二日目も同じように仕事をこなし、さらに交流を深めることができました。かつこの館の方々は、家族のような雰囲気があり、とても過ごしやすい楽しかったです。

## 認定こども園 はやせ

13 HR 齋藤 伶奏

インターンシップでは私も園はやせに行きました。二歳児クラスの担当になり、仕事の中の半分は子供たちと遊んでいました。その中で学んだことは、ただ優しく接するだけではなく、注意すべき場面ではしっかりと注意することが必要だということです。オムツ交換や寝かしつけ、食事の手助けなど、思っていたより仕事が多く、職員の方にサポートしていただきながら取り組まれました。お別れの時には園児たちに愛着が湧いてしまい、一生ここで働きたいと思いました。良い経験になった二日間でした。

## つがる市役所

14 HR 三上 稔緒

私はインターンシップでつがる市役所の業務を学ぶという貴重な体験をさせていただきました。一日目は市立図書館や特産メロンを栽培している場所を見学し、観光やブランド事業についての説明を受けました。特産メロンを作るため、数年かけて試作品を育て続けると知って驚きました。二日目は防災倉庫などを見学し、また、亀ヶ岡遺跡と田小屋野貝塚を訪れ、ちょうど前日に発見された土器を見た貴重な体験ができました。図書館の整理や建物の面積を調べる体験もでき、市役所の仕事に興味を持ってました。

# 青森中央学院大学見学

青森中央学院大学との高大連携事業の一環として、11月16日(水)、1年次進学希望者による青森中央学院大学での授業見学が実施された。生徒たちにとって初めての大学訪問は、実り多い体験となった。



## 看護学部

11 HR 工藤 芽依

高校生になって初めての大学訪問は、これから私たちが将来の選択をする上で、とても重要な判断材料になりました。私たちは青森中央学院大を訪れ、教授の方から説明を受け、大学の中を案内していただきました。大学はとて大きく、圧倒されました。学科別に分かれての模擬講義では看護学科の方に大学生活について質問しました。大学生と交流もして、自分の将来の夢、進路に向けて「もっと頑張ろう！」と思うことができた実りある一日でした。

## 食物栄養学科

12 HR 斎藤 璃子

私たちは初めて大学の施設見学をしました。たくさんの講義室や実習室があり、専門的な知識を身につけるための環境が整っていることに魅力を感じました。施設見学のあとは、実際に大学の授業を体験しました。短い時間でしたが、授業の雰囲気を感じる事ができて、大学進学への参考になりました。もし機会があったら、他の学科の授業も体験してみたいと思います。私は今回の大学見学で学んだ多くのことを、これからの進路や普段の生活に役立てたいと思いました。

## 経営法学部

13 HR 大川 純花

私たち一年生は、高大連携事業で青森中央学院大学に行きました。施設見学の後に、学科コースごとの違いやどのような講義・実習があるのかについて説明を受けました。どのようなかを学ぶのか、どういうところが面白いのかがよくわかりました。その後、法学の体験授業に参加しました。原告と被告に分かれ、裁判形式で、ある人物の過労死が疑われる件について議論しました。うまく意見を出せませんでした。ゼミの雰囲気を知らなくて、相手を論理的に説得しようとする法学の面白さを実感しました。この経験を進路に活かしたいと思っています。

## 幼児保育

14 HR 岩根 巧夢

僕は高校生になって初めて大学の見学をして、授業を体験しました。大学の見学では、施設を紹介してもらい、学内の雰囲気がよくわかりました。また、学生の一人一人が自分の夢に向かって行動している様子を見て、僕もこんな学生になりたいと思いました。体験学習で、僕は幼児保育の授業に参加しました。授業では大学生が先生役をやり、僕は子供役をやり、僕ら実際に体験して、子どもに対する言葉遣いやわかりやすく伝えるための工夫など、いろいろと勉強になりました。そして、大学に行きたい気持ちがいよいよ強くなりました。

# 馬市まつり

8月28日(日)に開催されたつがる市馬市まつりに、1・2年次が参加し、馬市まつり実行委員会が中心になって造り上げた馬ねぶたと共に、勇んで出陣した。

## 馬市まつり実行委員

32 HR 越谷 文音

今年度は三年ぶりに馬市まつりが開催されました。七月下旬から馬ねぶたの制作に取りかかりました。わからないことばかりで思うように作業が進まず、祭りに間に合うか不安でしたが、講師の方や様々な部活動が協力してくれたおかげで、無事完成させることができました。パレードでは、一・二年生が練習した踊りを地域の方々に披露しました。入賞することはありませんでしたが、皆様に楽しんでいただけたと思います。活動を通して、仲間と協力することの大切さを学びました。来年度も木造高校から地域を盛り上げてほしいです。



# 学習成果発表会

総合的な探究の時間の学習成果発表会（校内）が12月14日（水）に催され、各年次の代表者がプレゼンテーションを行った。その中から選ばれた2チーム（いずれも情報システム系列）が、12月26日（月）に青森大学で開催された第9回青森県総合学科高等学校研究発表会に出場し、「農業を持続可能なモノに」～低コストのスマート農業で農家の減少を抑えよう～を発表したチームがMIP（最優秀プレゼンテーション）に、「観光を持続可能なモノに」～観光VRで縄文遺跡の魅力発信～を発表したチームが審査員特別賞に輝いた。

## 総合探究発表（農業）

34 HR 三上結愛

私は、青森大学で行われた課題研究発表会に参加しました。情報システム系列では、低コストで導入可能なスマート農業システムの研究に取り組みました。研究内容は、IoT温度計を使用しハウスの温度を計測する「通い農業支援システム」と太陽光発電システムの製作、ハウスでの実証実験です。

結果は最優秀賞のMIP賞をいただきました。この研究を通して、つがる市の農業を持続可能なモノに変えるスマート農業の可能性を知ってもらおうことができましたと思います。



## 総合探究発表（観光）

34 HR 成田紗埜

私たちの課題研究グループは、世界遺産に登録された縄文遺跡群を多くの人に知ってもらうため、観光VR動画を製作しました。実際に専門家から縄文時代についてお話を聞いたりなど、研究を進めていくうちに、今まで知らなかった遺跡の魅力がたくさん発見することができました。青森大学で行われた研究発表会では「審査員特別賞」を頂くことができて、とても嬉しかったです。

今年度から始めたこの研究には、まだまだ大きな課題があります。遺跡群の知名度アップを目指して後輩にも頑張ってもらいたいです。



## 総合的な探究 発表要旨

「農業を持続可能なモノに」～低コストのスマート農業で農家の減少を抑えよう～  
木造高校 情報システム系列 山田航希 三上結愛

【発表内容】 この研究は福島県の東北農業研究センターの先行研究「通い農業支援システム」をもとに製作したものです。低コストで運用できる「通い農業支援システム」は、Wi-Fi機能を内蔵したIoTデバイスに温度センサーを接続し、インターネットとスマホのLINEを経由して、遠隔でハウスの温度を管理するモノです。

今年度は、定期通知プログラムの改善と100V電源の無い場所で活用するために、太陽光発電システムを自作しシステムのバージョンアップに取り組みました。

【発表者よりメッセージ】 SDGs 8の目標は「働きがいも 経済成長も」です。私たちは低コストのスマート農業を普及し、農家の負担を減らし働きがいと収入アップにつなげたいと考えました。システムの製作から、実験・観察、若手就農者を集めた報告会など、約1年間の「通い農業支援システム」の研究を、実演を交えてご紹介します。

「観光を持続可能なモノに」～VRでつがる市の世界遺産を盛り上げよう～  
木造高校 情報システム系列 成田紗埜 岩川萌香 古川しおり

【発表内容】 亀ヶ岡石器時代遺跡は県の来訪客調査で、約90%が初めてという、「北海道・北東北の縄文遺跡群」の中でも認知度は高くない。私たちは亀ヶ岡石器時代遺跡を360度カメラで撮影してVR動画にまとめました。また、ペーパー製VRゴーグルは、亀ヶ岡石器時代遺跡をデザインした木高オリジナルのものです。今年度は、1年目の研究で将来的にはGPSと連携した「亀ヶ岡スタンプラリー」を作成し、観光体験パッケージを完成させることが最終目標です。

【発表者よりメッセージ】 SDGs 11の目標は「住み続けられるまちづくりを」です。私たちは高齢化が進むつがる市唯一の世界遺産の認知度UPを図るため、「観光VR」を製作し持続可能な観光プランにつなげたいと考えました。つがる縄文の会と連携した、約1年間の「観光VR」の研究を、実演を交えてご紹介します。

# スキー教室

2月1日（水）、鱒ヶ沢スキー場でスキー教室が催された。風雪のため、午前だけの実施となったが、生徒たちはそれぞれにスキーやスノーボードを楽しんだ。

## 12 HR 高木芭葉

今回のスキー教室で、私は初めてスノーボードに挑戦しました。最初は片足だけボードにつけて山を登る練習をしましたが、とても難しく、すぐに転んでしまいました。しかし講師の先生にやさしく教えてもらい、リフトに乗るところまで移動できるようになりました。リフトを降り、いざ一人で滑ろうとしましたが、ほぼ座ったままで、講師の先生に手を借りながら、それでも最後まで滑ることができました。とても楽しいスキー教室でした。

## 23 HR 秋田谷妃高

今回は、人生で初めてのスキーを経験しました。少し風が強かったけれど、とても楽しかったです。スキーやスノーボードを上手に乗りこなしている人もいて、ゲレンデマジックを感じました。初めてのスキーは、とにかく足が痛いし、転ばないと止まらなかつたけれど、講師の方がみっちり教えて下さったおかげで、なんとか滑れるようになりました。午前だけでしたが、みんなとスキーができて、素敵な思い出を作ることができました。

部活動名	大会名	種目	順位	氏名			
陸上競技	県新人大会	女子走幅跳	1位	渋谷麻由	東北大会		
		男子やり投げ	4位	熊田一美	東北大会		
		女子4×100mリレー	5位	渋谷・松橋・齊藤・坂本			
		女子4×400mリレー	5位	松橋・其田・齊藤・坂本			
		男子4×100mリレー	5位	稲葉・高橋・秋田・川田			
	県秋季陸上競技大会	男子100m	5位	高橋陸斗			
		女子4×100mリレー	8位	渋谷・松橋・齊藤・坂本			
		男子4×100mリレー	4位	川田・秋田・稲葉・高橋			
		女子100mハードル	7位	齊藤美月			
		女子400mハードル	5位	松橋怜奈			
柔道	県新人大会	男子団体	2位	秋田・川田・今村・高橋	東北大会		
		女子団体	1位		東北大会		
		男子個人66kg級	1位	笠井鳳聖	東北大会		
		男子個人73kg級	1位	佐藤信吾	東北大会		
		男子個人無差別級	3位	田戸岡創	東北大会		
		女子個人48kg級	3位	工藤 桜			
		女子個人57kg級	2位	増田結月	東北大会		
		女子個人57kg級	3位	増田結巴			
		弓道	県新人大会	男子団体	予選敗退		
				女子団体	予選敗退		
男子個人	予選敗退						
女子個人	決勝進出(順位つかず)			成田麗名			
剣道	県新人大会	男子個人	1回戦敗退				
		女子個人	1回戦敗退				
バスケットボール	県新人大会	男子		7-9 八戸北			
		女子	ベスト8	7-8 弘前中央 7-9 八戸北 7-10 弘前学院 7-11 子連トーナメント 39-80 柴田学園			
バドミントン	県新人大会	女子学校対抗	1回戦敗退	1-3 黒石			
		女子個人戦ダブルス	2回戦敗退	1ペア			
		女子個人戦ダブルス	1回戦敗退	3ペア			
		女子個人戦シングルス	1回戦敗退	2名			
テニス	県新人大会	男子団体	1回戦敗退	0-4 八戸			
		女子団体	1回戦敗退	2-3 青森			
卓球	県新人大会	西北地区大会 男子学校対抗	1回戦敗退				
		西北地区大会 女子学校対抗	2位				
		県大会 男子学校対抗	2回戦敗退				
硬式野球	秋季五所川原地区 野球大会	リーグ戦	3位	6-4 五農林 1-7 五所高 2-9 五工科			
	秋季高校野球選手権 五所川原地区予選会		地区予選敗退	8-6 五農林 7-8 五工科			
ソフトボール	県新人大会	青森・青森南・青森東・木造による合同チームで参加	ベスト8	1回戦 14-1 八戸西 準々決勝 0-10 柴田学園			
	県新人大会	体重別個人戦100kg級	2位	神哲平			
相撲	東北高校相撲選抜大会	体重別個人戦100kg級	3位	神哲平			
サッカー	県新人大会	弘前・五所川原地区大会	2位	2-0 弘前南 1-1 弘前 順位決定戦 0-5 弘前中央			
		県大会	1回戦敗退	1-4 三沢南			

部活動名	大会名	種目	順位	氏名	
競技かるた	東北・北海道かるたウインタートーナメント	D級	1位	川村真美	
演劇部	県演劇合同発表会	予選	最優秀		
	県高総文演劇部門		優秀賞		
美術部	県高総文美術部門		入賞なし		
吹奏楽部	吹奏楽コンクール 弘前大会	小編成の部	金賞		
	吹奏楽コンクール 県大会	小編成の部	銀賞		
ワープロ	県高校ワープロ新人競技大会	ワープロの部・個人	25位	猪ノ口文太	
珠算	県高校ビジネス計算新人競技大会	珠算・個人の部	10位	三上啓仁	東北大会
	東北六県高校ビジネス計算競技大会	電卓・個人の部	22位	猪ノ口文太	
JRC部	県高総文(中野・西北地区) 青少年赤十字部門	救急実技コンクール	最優秀		
		壁新聞コンテスト	優秀賞(2位)		
		体験発表	最優秀	長内保乃楓	

# 令和4年度青森県高体連優秀選手賞

競技成績が優秀な選手に授与される高体連優秀選手賞を、竹内豪君(陸上競技)と小野巨君(弓道競技)が受賞した。

## 31 HR 竹内 豪

この度、高校総体優秀選手賞をいただきました。正直、このような賞を受賞することができたのは考えていなかったもので、非常に光栄に思っています。今年は、陸上競技を通じて貴重な経験を得ることができました。高校三年間では楽しい思い出だけでなく、苦しい時期もありましたが、それを乗り越えたという成功体験は将来必ず役立つものと考えています。この賞に恥じぬように、これからも精進してまいります。



## 32 HR 小野 巨

この度、高体連優秀選手賞を受賞することができました。この3年間、仲間と切磋琢磨しながら上を目指し、壁に突き当たったこともありましたが共に乗り越えてこれました。自分達の頑張りがこのように評価してもらえたことを、とても嬉しく思います。弓道に携わり、支えてくださった先生や多くの方々に感謝し、この賞を励みとしてこれからも精進してまいります。この度は本当にありがとうございました。

